Press Release

舞 鶴 市
MAIZURU CITY

報道関係者各位

令和８年11月10日

「みんなの想いで未来のまちをつくろう！」
舞鶴市民憲章アンケート結果について

舞鶴市では、未来に向けたより良いまちづくりの共通理念および市民の約束事となる新たな「舞鶴市民憲章」の策定を進めています。このたび、憲章に盛り込む市民の想いやキーワードを把握するため実施した各種アンケートの結果がまとまりましたので公表いたします。

１．アンケート調査概要

本結果は、以下の3つの調査（延べ回答者数：966人）の自由記述意見を分類・集計したものです。

①「みんなでつくる舞鶴2040（市民憲章の言葉を集めよう）」

期間　　：令和8年9月1日（火）～ 10月31日（土）

方法　　：Webアンケート（回答：256人）

主な内容：誇り・好き／2040年の姿／行動・心がけ／舞鶴らしさ

②「広報まいづる 9月号アンケート」

方法　　：令和8年9月号（回答：182人）

主な内容：大切にしたい行動・心がけ

③「令和7年度 市民アンケート（意見募集）」

期間　　：令和7年10月1日（水）～令和8年1月31日（土）

方法　　：舞鶴市ホームページや舞鶴市公式SNS（回答：528人）

主な内容：目指すまち／課題／ありたい姿／自分ができること

※市民憲章に関わるアンケートとして令和7年度アンケートも含めております。

２．添付資料　アンケート分析結果

Maizatsu

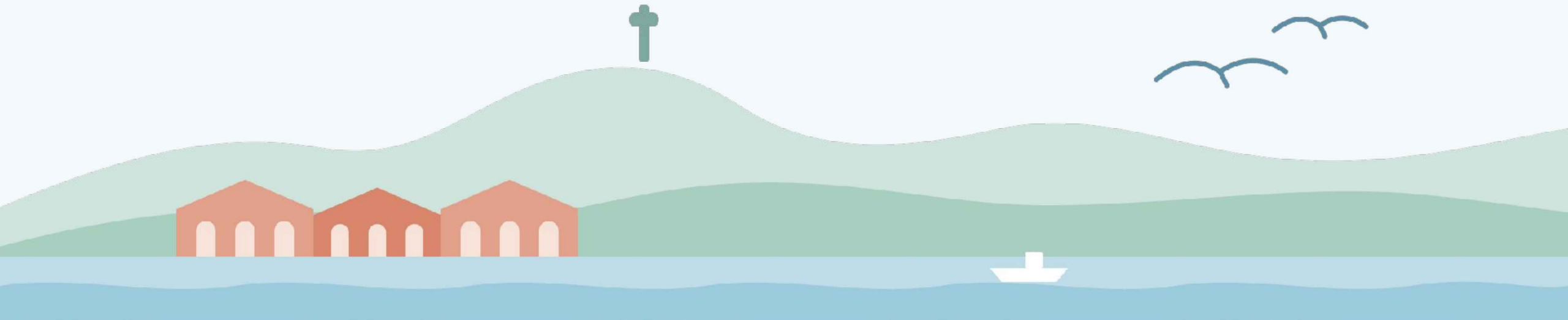
休日の部活動を
地域に展開

舞鶴市　企画政策課（担当：後、小谷）
〒625-8555 舞鶴市字北吸1044
TEL:0773-66-1042、FAX：0773-62-5099
E-mail:plan@city.maizuru.lg.jp

舞鶴市民憲章アンケート結果

みんなの想いで未来のまちをつくろう！

市民アンケートレポート



市民アンケート

調査の概要

3つの調査に、のべ966人が回答。
いずれも ①好きなところ・誇り ②2040年の理想 ③市民としての振る舞い を自由に書いてもらっています。

みんなでつくる舞鶴2040

（市民憲章の言葉を集めよう）

256 人

時期・方法　2026年9～10月 Web
主な設問　誇り・好き／2040年の姿／行動・心がけ／舞鶴らしさ

広報まいづる 9月号アンケート

182 人

時期・方法　2026年9月 広報紙
主な設問　大切にしたい行動・心がけ

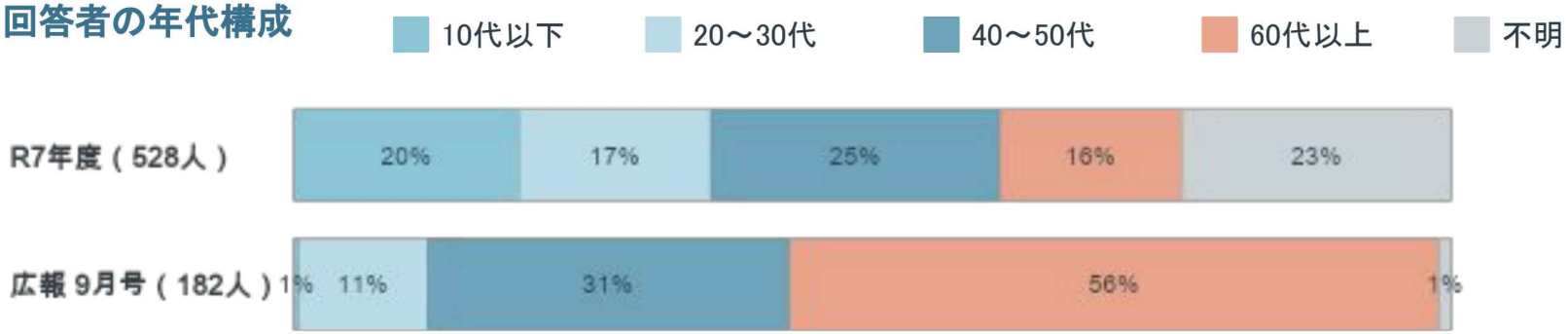
R7年度 市民アンケート

（意見募集）

528 人

時期・方法　令和7年度
主な設問　目指すまち／課題／ありたい姿／自分ができること

回答者の年代構成



市民憲章アンケート
年齢の設問なし（回答内容から学生も多く含まれるとみられる）

広報 9月号の地区
西46%・東40%・加佐6%・市外4%・中3%・大浦2%

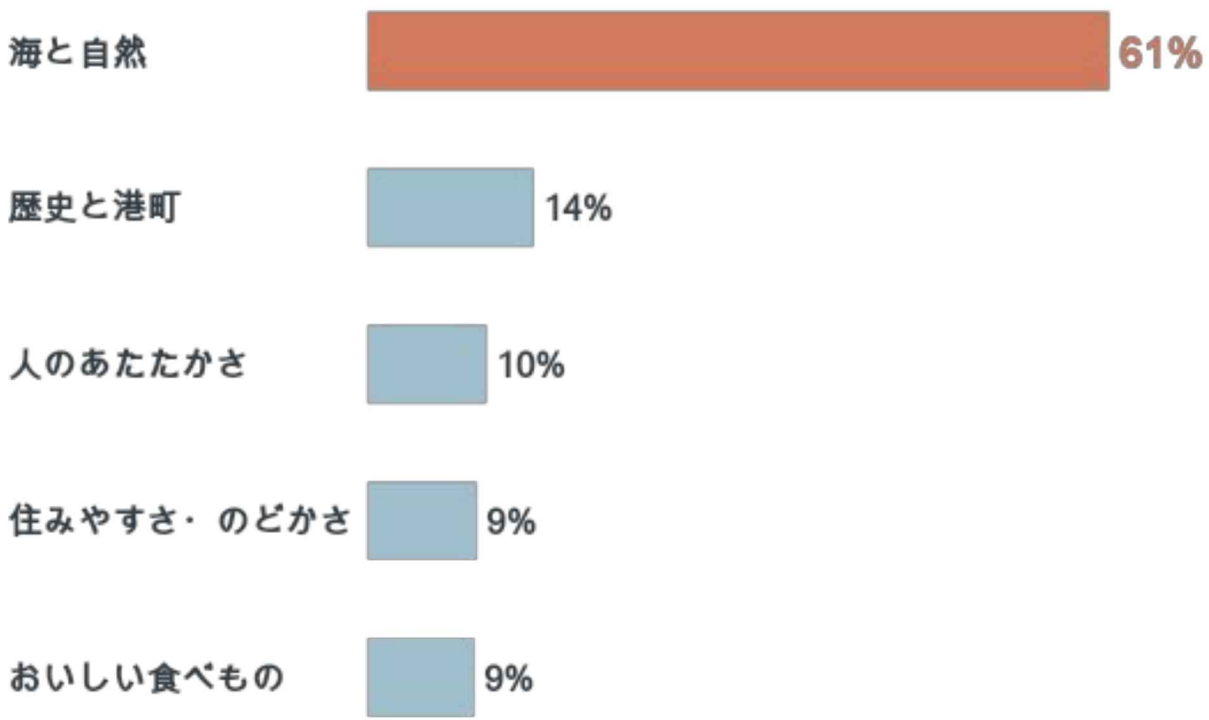
1つの回答に複数の内容がある場合はそれぞれに数え、割合は各設問の有効回答数を100%としています。年代は回答者の記入による。

市民アンケート

① 舞鶴の好きなところ・誇り

好きなところ（Q1）と舞鶴らしさ（Q4）の回答の約6割が「海と自然」です。

Q1・Q4の合計（有効回答 498件）



出典：みんなでつくる舞鶴2040（Q1・Q4）。無効回答を除く。「海」と書いた回答はQ1・Q4とも約2割。

Q4で多かった言葉

自然あふれるまち 22件　**美しい海** 16件
自然豊かなまち 12件　**綺麗な海** 6件

※設問の例に出ていた言葉と重なっています

「海が近くて、リフレッシュできるところ」
海と自然｜市民憲章 Q1

「引揚の歴史を色んな形で継承しているところ。…」
歴史と港町｜市民憲章 Q1

「とれせんで新鮮なお魚が食べられる」
おいしい食べもの｜市民憲章 Q1

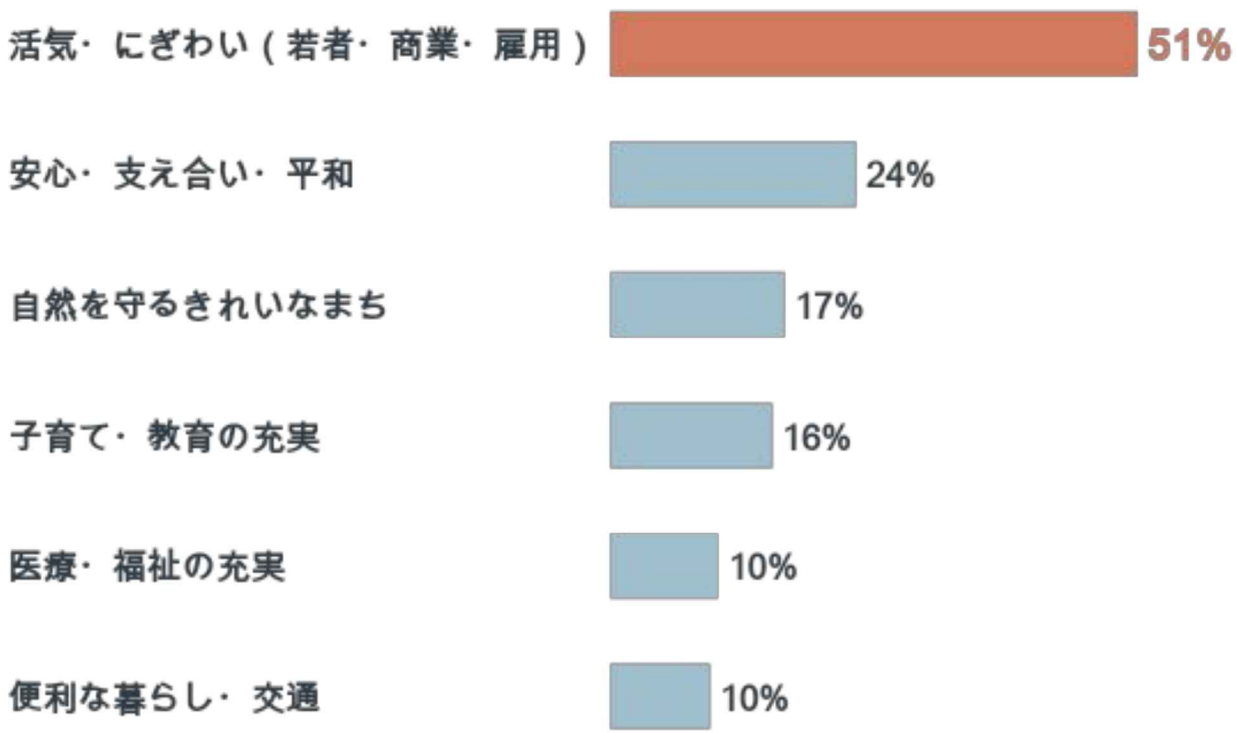
「おおらかで優しい人が多いところ」
人のあたたかさ｜市民憲章 Q1

市民アンケート

② 2040年の理想の舞鶴

全体の約半数が「活気・にぎわい」。次いで「安心・支え合い」が約4分の1です。

市民憲章アンケートQ2・R7年度①の合計（有効回答 738件）



出典：みんなでつくる舞鶴2040（Q2）、R7年度アンケート（①）の合計。元データを全件分類して集計。無効回答を除く。

「もっと遊ぶ場所とかを作って明るくしてほしい」
活気・にぎわい｜市民憲章 Q2

「老若男女、お互いが思いやり、優しさをもって支え合うまち」
安心・支え合い｜市民憲章 Q2

「自然環境を残しつつ、都会の快適な生活を交えた街づくりで、全世代が心地よく暮らせるまち。」
自然を守るきれいなまち｜市民憲章 Q2

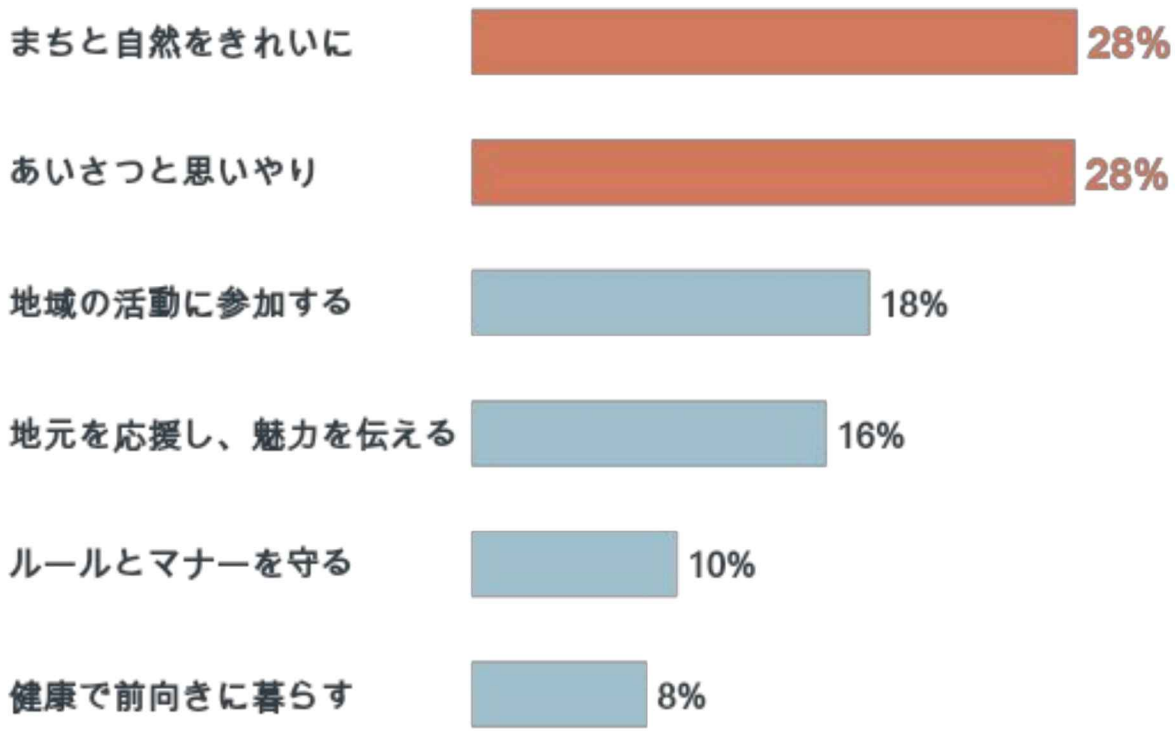
「子育てがしやすく、便利な街みんなが安心できる街。」
子育て・教育｜R7年度 ①（10代以下）

市民アンケート

③ 市民として大切にしたい振る舞い

「まちと自然をきれいに」と「あいさつと思いやり」が、それぞれ約3割で並びます。

3調査の合計（有効回答 517件）



「舞鶴の美しい海と山を残したい。きれいな街であり続けてほしいので、ゴミ拾いします。」
まちと自然をきれいに｜広報（50代）

「困っている人がいたら助けるなど、思いやりを持った行動をすること」
あいさつと思いやり｜市民憲章 Q3

「同じ様な商品なら、なるべく地元で購入する」
地元を応援｜広報（60代）

「地域の歩道の雪かきを進んで行う。自治会の中で交流し、親睦を深める。」
地域の活動に参加｜R7年度 ④（40代）

出典：みんなでつくる舞鶴2040（Q3）、広報まいづる9月号、R7年度アンケート（④）の合計。無効回答と行動として読めない回答を除く。回答者の年代構成は調査ごとに異なる（p.3）。

年代別の傾向 — アンケート全体から

10代は「きれいなまち」、20〜50代は「子ども」「にぎわい」、60代以上は「医療・福祉」「若者の仕事」に多く触れています。

10代以下 102人

「ごみのないきれいなまち」に触れる人が、他の世代の3倍以上

よく触れた話題

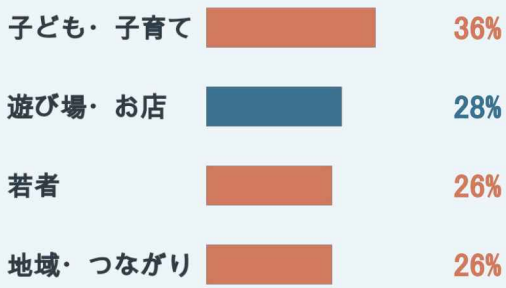


「ゴミひとつない綺麗な街にしたい」

20〜30代 86人

子ども・子育て・教育への言及が最も多い世代

よく触れた話題



「お金を理由に子どもの進路を制限しない町」

40〜50代 132人

お店・遊び場・観光など「にぎわい」への言及が最も多い世代

よく触れた話題



「商店街が活気で溢れる街にしたい」

60代以上 82人

医療・福祉に加え、「若者」「仕事」など次の世代を気にかける声

よく触れた話題



「若者が地元で魅力ある仕事が出来る環境にしたい。」

■ オレンジ＝4つの年代の中で最も多く触れた話題（同率を含む）。どの年代も「子ども・子育て・教育」と「安心・安全・平和」には2割前後が触れています。

出典：R7年度アンケート（①〜④の全設問）。年代の記入がある回答者402人。割合＝その年代の回答者のうち、その話題に1回以上触れた人の割合（キーワードで判定）。